

令和8年度

津乃峰小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 自分で考え、共に学び合い高め合う児童の育成
- 主体的な学びで確かな学力につなげる授業改善の在り方

校長

森下 稲子

学力向上推進員

森本 尚美

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○落ち着いて学校生活を送り、決められた課題に取り組むことができる。</p> <p>●語彙が少なく、文章や問題を読み取る力の個人差が大きい。</p> <p>●分からないときの調べ方を知らない。</p>	<p>・語彙を増やして文章を正確に読み取ることができる。</p> <p>・教科の基礎基本が身に付いている。</p> <p>・分からないときの調べ方のスキルが身に付いている。</p>	<p>・詩や記事等いろいろな文章に触れる機会をつくり、語彙を増やす。</p> <p>・漢字学習や計算練習を繰り返し丁寧にを行う。</p> <p>・意味の分からない言葉を調べる習慣が身に付くように意味調べの時間をつくる。</p>			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○自分の意見を表現しようと試みる思いがある。</p> <p>●発問の意図や長文を読み取るのが苦手である。</p> <p>●情報を出し合ったり、根拠を明確に伝え合ったりするのが苦手である。</p>	<p>・相手の思いや意見をしっかりと聞き、それに対する自分の考えを伝えることができる。</p> <p>・互いの意見を出し合い、他者の考えを認め合うことで、みんなでよりよいものを生み出そうとすることができる。</p>	<p>・書く活動を充実させ、例文を提示し、自分の考えを明確に表現できるようにする。</p> <p>・互いに意見を伝え合い、考えを深められるような話し合い活動の充実を図る。</p> <p>・タブレットやホワイトボードを効果的に活用し、互いの意見を共有したり表現したりする場面を増やす。</p>			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○課題に対し、最後まで取り組もうとする。</p> <p>●学習内容や活動状況に合わせて、見通しをもって、主体的に取り組むことが難しい。</p>	<p>・主体性をもって、各教科の学習や家庭学習に取り組むことができる。(学年×10分+10分間)</p> <p>・自ら課題意識をもち、これまでに学習した内容を生かして解決しようとする態度が身に付いている。</p>	<p>・学習のめあてを明確にすることで見通しをもてるようにするとともに、次時の課題を示すことで意欲につなげる。</p> <p>・子ども新聞等を朝の活動で活用し、考えたことを伝え合うことで、学習への興味・関心を高められるようにする。</p> <p>・自主学習のやり方を具体的に紹介したり、よい例を示したりすることで意欲を高める。</p>			